

数 学 科

【研究主題】

直面した問題をよりよく解決する方法や手順を、筋道立てて考える生徒の育成

【研究副主題】

批判的思考を促す学びの展開

公開授業

学級：2年3組 授業者：橋本 聡



データの比較 ～長崎市の冬は、暖かくなっているの？～

平成29年度の学習指導要領改訂に伴い、「資料の活用」の名称が「データの活用」に変更されました。改訂の目玉となったのは、四分位範囲や箱ひげ図。これらを学生時代に学んでいない先生方も多いのではないのでしょうか。私もその一人です。情報化の進展に伴い、必要なデータを収集して分析し、その傾向を踏まえて課題を解決したり意思決定をしたりする力が求められる今、中学生の生徒たちにその素地を身につけさせることが、我々数学科教員の使命であると考えます。

そこで、“**統計的な問題解決における批判的思考を促す学び**”を御提案いたします。

当日は、四分位範囲や箱ひげ図を用いて、データの傾向を読み取り、根拠を明確にして自分の考えを説明したり、自他の考えを共有し批判的に考察したりして、統計的な問題解決のプロセスであるPPDACサイクルを何度も繰り返しながら、自他共に納得する根拠を見だし、よりよい結論を導こうとする一連の学びの姿を御覧ください。

メタ認知との関わり

問題の解決に必要なデータやそれらを分析する方法を検討させるなど、「**問題解決のための見通しを立てる**」メタ認知的知識に基づいた活動を仕組みます。また、自他の考えを共有し批判的に考察させる場面を設定することで、「**導いた結論や問題解決の妥当性を検討する**」メタ認知的知識を促します。これらの活動により、生徒が学びを深める姿を御覧ください。

長崎大学教育学部附属中学校教育研究協議会

令和6年1月26日（金） 9:00 ～ 16:15

詳細はこちら

